

湊川相野学園 ニュース

発行:2019年1月
湊川相野学園理事長室会

No.50

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川相野学園

「創立100周年の年頭にあたり

浅井祐子理事長・学園長におききました。」

今年は学園の節目の年です。私は、今年はこの学園をこれまで支えていただいた多くの人に感謝する1年にしたいと思っています。

創立100周年記念募金にしても、有難いご寄付金と共に届けられるメッセージを読むと、当学園のこれからに期待されていることがわかります。

湊川相野学園の基本理念は校祖幸田たま先生より脈々と受け継がれています。先生が言われた女性の社会的自立とは、職業的な自立だけではなく、家庭婦人としてもしっかり自立することであり、男女協働の社会の中で男女それぞれに家庭や社会で与えられた役割を果たすのが大切なことだと思います。そのためには社会の中でしっかりと生きる力、人に寄り添う心、誠実さなどが必要であり、それを当学園で学んで欲しいと思います。

また、幾多の災害にもくじけずに100年という時を積み重ねてきた「あきらめないでがんばる」という学園の歴史もきっと皆さんに伝わってくれることでしょう。

この節目の年と一緒に祝うことができる教職員の方々には、たまたま自分がそこに居たということではなく、この時に自分が立ち会う意味を考え、また感謝し、新たな一步を踏み出す糧にしてくださることを期待します。教育の方法や内容は時代とともに変化しますが、変わらぬ教育の目的——次世代を担う人を育てる——の重要性を再確認し、学園の教育への姿勢——家庭のようにていねいに育てる——はこれからも大切にしたいですね。

個人的(といっても多くの方にご協力いただくのですが)には、今年は茶会などのイベントを何度か開き、茶道を通じてさまざまな人が交流する、つながっていく場をつくっていきたいと考えています。

今年も皆さんが元気で充実したすばらしい1年となることを願っています。



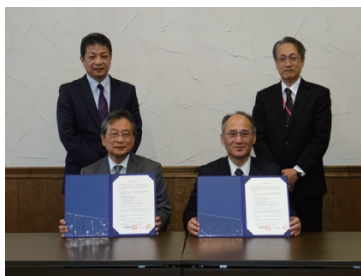
湊川短期大学「高大連携協定締結」

2018年12月11(火)に兵庫県立三田祥雲館高等学校と2018年12月14(金)に兵庫県立川西明峰高等学校と高大連携教育に関する協定を締結しました。

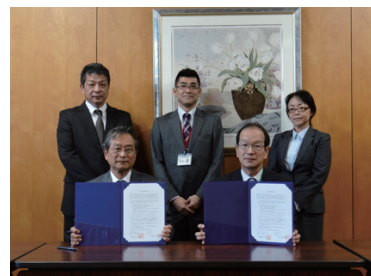
兵庫県立三田祥雲館高等学校とはこれまで、「介護福祉入門」の授業に本学より講師の派遣、さらに、生徒さんを本学に招いて授業を行うなどの交流がありました。また、「ふれあい育児体験」では附属の幼稚園との交流も続いております。兵庫県立川西明峰高等学校とは総合学習「明峰の学び」に幼児教育保育学科の教員が講師を務めるなどしてきました。

また、専攻科人間健康専攻の学生を派遣し先生よりも生徒に近い立場でかかわる支援なども行っております。

どちらも協定を結ぶ以前から親しいおつきあいがありますが、協定の締結を契機に更に交流の深まることが期待されます。



兵庫県立三田祥雲館高等学校



兵庫県立川西明峰高等学校

北摂学園幼稚園「同園会」



平成31年1月7日(月)に北摂学園幼稚園を卒園した小学生の子どもたちが64名遊びにきました。毎年恒例となり、久しぶりの園で遊び、昼食を共にし、友だちや先生たちとの会話を楽しんだりして過ごしました。一年生は、「やっぱり幼稚園がいいなあ。」と口々に話し、中学年、高学年になると恥ずかしさや照れる姿はあるものの、ゲームとなると声をあげながら参加していました。また、懐かしさを感じながら、久しぶりのお茶のおけいこを体験し、お茶碗の持ち方や、茶筌の使い方、ご挨拶等しっかりと覚えており、自分たちで進めておりました。遊戯室入り口には、きちんと揃えられた靴が並びさらに関心いたしました。そして最後に園歌を全員でうたい、来年も会えるようにと話し見送りました。迎えに来られた保護者の方同士も、話に花が咲き、当時は振り返っておられ、正門前はしばらくにぎやかでした。年に1回の少しの時間ではありますが、私たち職員も子どもたちとの繋がりを有難く感じ過ごさせていただいております。